

平成29年2月1日(水)

年頭のあじわい

藤野地区町内会連合会 会長 寺田 良男



新年あけましておめでと
うございます。

年頭にあたり謹んで新年
のご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれまして
は、ご家族様お揃いで希望
に満ちた新年を健やかに
迎えることと、心よりお慶
び申し上げます。

この良き新年をみなさま
と共に迎えることができた
のも、温かいご支援の賜物
と深く感謝申し上げます。
時の過ぎ行くのは早いも
ので、終着駅が近づいてき
ました。

降りる準備をせねばなら
ないと、よっこらしよ！と
徐に腰を上げています。

一昨年、大役をお引き受
けし、理事・役員の皆様の
お陰で大過なく現在まで過
ごさせていたできていま
す。誠にありがとうございます。

さて、12月10日藤野中学
校において第13回ふじのふ
るさと子ども会議が開催さ
れました。

藤野南小学校の発表は
藤野のまち、商店街をもつ
と元気に！

藤の沢小学校の発表は
藤野地区の安全マップ、憩
い場、自然（環境）！

藤野中学校の発表は
藤野地区の地域おこし

上記3校の将来を担う児
童・生徒さんたちがそれぞ
れのテーマにそって素晴ら
しい発表をされました。
い、藤野の天然水売り出
せないか？

口、複合型藤野コミュニテ
ィセンターの設置

による集客、人口増に繋
げ、もつともつと活気のあ
る藤野のまち、商店街にす
る地域おこしをしてほし
い！という発表でした。

この提案は、町連のまち
づくりビジョンの結びの
「藤野に住んでよかつた！」
と言ってくれる里にするた
めに「地域おこし」をしよ
うではありませんか！どう
か、良いアイデアのご提案
を切望しています。

結びに、皆様方の今後
益々のご繁栄とご健勝ご多
幸をご祈念申し上げ挨拶と
いたします。



ふじのふるさと子ども会議

年頭あいさつ

札幌市南区長 高野 馨



新年明けましておめでと
うございます。

皆様におかれましては、
輝かしい新年の幕開けを晴
れやかに、また、健やかに
お迎えのことと心よりお慶
び申し上げます。

日ごろから藤野地区にお
住いの皆様には、南区のま
ちづくりの推進に特段のご
理解とご協力をいただき、
厚くお礼申し上げます。

藤野地区は、町内会連合
会を中心として各種地域団
体の皆様が「花とみどり・
文化と福祉のまち藤野」を
まちづくりの指針として協
力し合いながら、花いっば
い運動をはじめとする環境
美化活動や福祉のまちづく

りに積極的に取り組まれて
おります。

また、自主防犯パトロー
ルや子どもの見守り活動な
ど多岐にわたる活動に一所
懸命取り組まれている姿を
拝見し、まさに、地域が主
体となった「まちづくり」
を実践されていると実感し
ているところであります。

さらに、藤野地区は、「地
域保健福祉活動モデル地
区」としてさまざまな健康
づくり活動を始め、子育て
サロンフェスタを開催する
など、他の地区の模範とな
る活動に積極的に取り組ん
でいただいております。

皆様の取組に心から感謝
するとともに、心強く感じ
ている次第です。

南区では、「安心して暮ら
せるまちづくり」「魅力と活
力にあふれたまちづくり」
「市民感覚を大切にしたい区
役所づくり」を平成二十八

年度の運営方針として、ま
ちづくりに取り組んでまい
りました。今後も引き続
き、南区の特徴である、美
しい自然景観、豊かな観光
資源、活発な地域活動を生
かして、「住んでよし、訪れ
てよし」の魅力あふれるま
ちづくりを進め、その魅力
を、全道、全国に向けて積
極的に発信するよう努めて
まいります。

今後皆様のご意見をい
ただきながら、区民が主役
で区民のための「まちづく
り」を一層進めてまいりま
すので、ご協力のほどよろ
しくお願いいたします。

本年が藤野地区の更なる
発展の年となりますよう、
また、皆様にとりまして実
り多き年となりますことを
心より祈念いたしまして、
新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

平成二十九年 元旦

藤野地区町内会連合会

相談役 田中 義一(本通)

会長 大高喜代一(第二)

副会長 寺田 良男(巒ヶ岳)

石村 勇雄(十五島)

仙北 英治(本通)

吉田 健治(野々沢)

星野 数夫(巒ヶ岳)

伊藤 邦憲(高台)

山形 博(富士見)

菅野 暁子(第一)

澤田 勇(第二)

船越 盛正(三区)

飯盛 禮子(富士見)

高田 英敏(緑町)

田中 一男(中央)

岩崎 耐揮(高台)

是安 恒夫(高見台)

清水 生彦(白樺)

小田 勝義(西藤野)

佐藤 順一(白川)

佐藤 悦子(巒ヶ岳)

船橋 廣光(巒ヶ岳)

中西敬一郎(東藤野)

堀 武(本通)

広報部 森永 和雄(高台)

福祉部 阿部 昇(三区)

安田 英子(巒ヶ岳)

中居 のふ(巒ヶ岳)

地域安全部 清野 昭一(白樺)

関根 誠(十五島)

佐々木理郎(三区)

大熊 成子(十五島)

八重崎泰則(巒ヶ岳)

宮里 紀詮(十五島)

真保 和子(野々沢)

大越 龍幸(野々沢)

河野 秋子(西藤野)

伊藤 洋子(十五島)

斎道 弘子(野々沢)

広津真理子(巒ヶ岳)

長谷川妙子(緑町)

伊東 慶子(野々沢)

館谷加奈男(巒ヶ岳)

古川 和夫(第二)

八幡 忠幸(三区)

山口 誠一(富士見)

環境部

文化部

女性部

青少年部

体育部

地蔵安全部

福祉部

広報部

環境部

新年明けましておめでとうございます

藤野まちづくりセンター

所長 安立 卓也



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかに新年を迎えられたことと心からお喜び申し上げます。

私が、藤野まちづくりセンターに赴任してから二度目の正月を迎えましたが、この間、藤野地区の皆さまには、南区のまちづくりに深いご理解と多大なご協力をいただき、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、藤野地区は自然に恵まれた緑豊かな環境を生かして、「花とみどり・文化と福祉のまち」をまちづくりビジョンとし、歩道の花植えや個人のお宅でのガーデニン

すが、引き続き災害に強いまちづくりに力を入れていく必要があります。

また、第十二回目の「ふるさとふじの子ども会議」の開催などの青少年育成活動にも実績があります。

まちづくりセンターとしてもこうした地域のまちづくり活動に対しまして、全力をあげてご支援させていただきます。

今年(西(とり)年)です。西年は、「取り込む」につながることを運氣もお客も取り込めると考えられ、商売などでは縁起の良い年とされています。

余談として、元々仲の悪かった猿と犬の間に入ってけんかの仲裁をしたのが「西」であるという言い伝えがあるそうです。

最後にありますが、西年にあやかり、この一年が皆さまにとりまして健康で幸せな良い年になりますようご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

賀正

平成二十九年 元旦

藤野地区老人クラブ協議会

顧問	吉田 三郎
会長	塚本 昭一
副会長	岩淵 弘義
監査長	日野 司朗
総務部	安宅 弘高
会計部	今村 勲
保健部	谷敷 信高
文化部	井東 道雄
	大室 昭夫
	関根 昭誠
	高木 弘子
	近藤 高之
	高松 光二
	山崎 数男

頌春

平成二十九年 元旦

藤野地区

民生児童委員協議会

会長	澤田 勇
副会長	星野 数夫
監査長	池野 啓子
幹事	清野 昭一
委員	棚橋 昭恵
	枝川 宏子
	田中 友子
	菅野 暁子
	小野久美子
	川戸 洋子
	和田 史郎
	角本 稔
	長壁 清美
	渡部 弦代
	岡崎 勝邦
	石川美都子
	塚田 純一
	伊東 慶子
	武田 道子
	佐々木真知子
	岡村 賢美
	平賀 順子
	神谷 康弘
	高橋 イソ
	秋坂志津子
	曾我部久和
	吉成美和子
	葛巻 朋子
	高橋 千晴

地区老人クラブ

藤野紫会会長	山崎 数男
ふじみ会会長	大室 昭夫
藤野一五会会長	関根 誠
藤宝クラブ会長	高木 弘子
南藤クラブ会長	高松 光二
藤野本通クラブ会長	岩淵 弘義
藤野緑クラブ会長	谷敷 信高
野々沢ひまわり会会長	日野 司朗
藤野藤友会会長	塚本 昭一
藤野高台クラブ会長	近藤 高之
藤つる会会長	井東 道雄
こぶしクラブ会長	安宅 弘高
ふじクラブ会長	今村 勲
藤野かたくり会会長	中西敬一郎

民生児童委員協議会

ふるさと藤野を考える

第十三回ふるさとふじの子ども会議

十二月十日(土)藤野中学校体育館において「第十三回ふるさとふじの子ども会議」が開催されました。

藤野南小学校、藤の沢小学校、藤野中学校の三校が住んでよかつた藤野の今とこれからをテーマに自分たちで調べたことをまとめ、発表しました。

それぞれの発表のあと学校間でディスカッションが行われ、発表内容を深めていきました。最後に来賓として出席くださった会場校



の校長先生、町づくりセンター所長、市議員から講評があり会を閉じました。

ふるさと会議に参加して
藤野南小学校 竹田 悠人

ぼくは、ふるさと会議がとても楽しかった。発表するときは、少しきんちょうした。だが、きんちょうしていたにもかかわらず、ぼくは楽しくできた。

他の学校の人の発表を聞いて、すごいなと思った。特に中学校の人は、藤野のためにくわしく考えていたので、いつか自分も、そんなまとめ方ができたらなと思った。

意見交かんをしている時に少しだけ答えにくい質問があった。もつとしつかりと、質問に答えられるようにしたらよかつたなど、今反省している。また機会があれば、会議に参加したい。

人と人との助け合い
藤の沢小学校 大村 夏鈴

私はこのふるさと子ども会議を通して、ここ藤野をもっと大切にしていきたいと思いました。

ふるさと子ども会議で

は、他の学校の意見、考えを聞き、私の藤野を見る目も、変わったと思えました。他の学校の人も、私達も藤野を大切にしている、榮えてほしいと願っていることが分かり、今よりさらにここ藤野を大切にしていきたい、人と人は助けあつてい

かなくてはならないなと強く感じました。そして、その一人一人が願っていることを少しづつ、実現できるような藤野にしていきたいと考えています。

未来の藤野のために。
藤野中学校 蝦名 真衣

発表までの一ヶ月間。ドタバタしていて急な変更もたくさんあり、「うまくいくのだろうか。」と少々不安なこともありましたが、本

番で、一番いい発表をすることが出来て、とても良かったです。小学生のみなさんの発表を聞いていて、自分達では思いつかないことがたくさん聞けて、このような意見交換の場を設けることで、未来の藤野がより良い地域となり住みやすくなるのだと思いました。

スーパームーン2016
昨年の十一月十四日に六年ぶりに地球に最接近した月を撮影しました。藤野ではあいにくの曇り空でしたが、雲の合間に顔を現した満月です。
撮影時刻 十一月十四日 二三時〇九分
場所 南区藤野
カメラ ニコンP900
撮影モード オート(補正なし)
撮影者 森永和雄



新春書初め会

青少年部

一月八日(日)藤野地区センター・アリーナで書初め会が行われ、小学生十九名、園児が三名の二十二名が参加した。(真駒内地区からの参加者もいた)低学年・園児は「ころころ」「ゆき山」、中学年は「流れる星」「美しい心」。高学年は「一朝一夕」「行雲流水」「全力投球」等の課題文字に挑戦していた。

筆に墨をたっぷりつけ思い切り書き始める子。紙をはみだすように大きく力強く書く子。はねやはらいを丁寧にする子。「流れる星」の「る」の字をうまく書けたと言う子。それぞれが真剣に、それぞれ楽しんでそう書初めを



していた。昨年は十四名、一昨年は十二名と、この数年参加者が少なかった。今年は二十二名参加。やはり人数が増えると楽しさも倍増する。素晴らしい新春書初め会であった。

新年子どもかるた大会

藤野地区青少年育成委員会



一月八日(日)午後一時から藤野地区センター・アリーナで行われた。今年は一八チーム(しらかば、高台、十五島A・B、緑町A・B・C・D)が参加。参加チームが増え、なかなかの活気であった。試合は八チームによるトーナメント。決勝は高台としらかばを破った緑町Aチームと十五島Bと緑町Cを下した緑町Bの対戦となった。どちらも譲らない接戦

となったが、最後は緑町Aチームが勝利し優勝した。

- 優勝 緑町Aチーム
木村陽菜さん
五嶋美香さん
原田奈妹さん
- 二位 緑町Bチーム
- 三位 しらかばチーム



今回は緑町旋風を感じた。そんな中、3位となったしらかば、2チーム出場した十五島、1・3・6年生の男子だけでチームをつくった高台。それぞれの健闘が光った。

聴きやすく読まれた。
千葉峯仁さん
岩崎耐輝さん
感謝

平成二十九年

ふるさとの新年交礼会

一月七日(土)一四時より藤野地区センターアリーナにおいて新年交礼会が開催された。参加者は来賓を含めて一八四名、オープニングは昨年十月に新たに入会した小学生を含めた演奏者が多くなった藤野太鼓保存会の子供たちによる太鼓の演奏。

町連星野副会長の開会の言葉に続き、町連役員・理事、会場の参会者全員で「藤野賛歌」斉唱、町連寺田良男会長、社協飯森禮子会長による主催者挨拶の後、来賓の議員からの挨拶、町連石村副会長の乾杯の発声で開宴。

アトラクションでは、藤野太鼓保存会の勇壮な演奏、栗岡・荒木氏の舞踊、松永氏のサククス演奏、藤野南町内会の皆さんによる「藤野音頭」、ステージから降り、会場狭しと踊りを披露した。

高野警区長から「市民が

主役の町づくり、住みよい藤野地区の町づくりに邁進されますよう」と祝福の言葉を頂きました。

最後は、全員による「ふるさと」の斉唱、指揮は藤野老協会長の塚本昭一氏、思いを込めて声高らかに歌いました。

町連仙北副会長の万歳三唱で閉会、互いの健康と安全を願い、地域の絆を確かめあった新年交礼会でした。

藤野地区鑑賞会

十二月十日(土)藤野中学校において、藤野地区町内会連合会青少年部、各町内会青少年部、各町内会子ども会の主催で「藤野地区鑑賞会」が行われました。

藤野太鼓保存会、藤野南小学校スクールバンド、藤野南中学校吹奏楽部、藤野小学校吹奏楽部、藤野中学校吹奏楽部がそれぞれ普段の練習の成果を地域の皆さんに披露しました。

前日からの大雪の影響で、昨年より参加者は減りましたが、それでも百人近



くが演奏を楽しんでいました。最後に藤野中学校吹奏楽部の演奏で参加者全員が「ふるさと」を合唱しました。

投稿コーナー

蓮の花のような女

丹治 友香 (八十八才)

早朝、露を受けて「ボン」と音を出して咲く花は蓮の花だけの様です。この花は慈愛を含み微笑んでいる様に思っています。青く丸い葉の大きさは仏陀様の台座に相応わしい感じがします。

泥沼に咲く蓮の花は極楽浄土の花となり、お釈迦様は泥の中で健気に咲く蓮の花をご覧になり、美しさ、品の良さ、慈愛の眼を注がれている様に思われます。

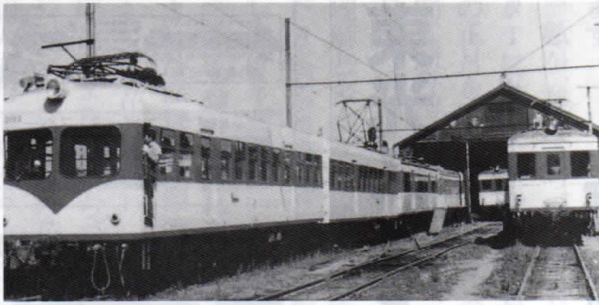
私の知人に蓮の花に似た方がおります。その女性とは約五十年以上の交際をしていて精神面や生活面で私を支えてくださっております。私は相手の方に十分負担をかけてはいけなそうと思いつつながらも通院のための交通費を乞食のようにお借りしたいとお願ひしました。彼

女は私の安否を尋ねるだけで静かに優しく聞くだけでした。私は申し訳なく悶々とした日々を過ごし、良心の呵責で悩みお札状を出しました。後日戴いた返事には「貴女は乞食をしてと言っているのは駄目です。困った時にお互いに助け合いするのは当たり前のこと、私は貴女のお人柄を知っており、私の母から色々とお教えられており…」

彼女の真如の悟りを知っている蓮の花の朝露の水玉のように、何も求めない清らかな言葉でした。私はこの方を心から尊敬し来世まで忘れずに持ち続けていきたいと思っております。私は彼女こそ蓮の花に相応わしい人だと思ひます。

定山溪鉄道と藤野

定山溪鉄道株式会社



電化された“じょうてつ”

大正七年(一九一八年)定山溪・白石間に定山溪鉄道が営業を開始した。開業当時は蒸気機関車で運行され、途中駅は、豊平、石切山(現在の石山)、藤の沢(現在の中央信金付近)、簾舞の四駅が設けられ、藤野の交通は大変便利になったようだ。記録によると昭和四年(一九二九年)には、

定山溪鉄道の電化完成(東札幌〜定山溪、27・2km)、藤の沢変電所が設置されたとある。さらに、昭和二十三年(一九四八年)には下藤野停留所が開設、昭和三十四年(一九五九年)に十五島公園停留所も設置されて、藤野の発展と住民にとってなくてはならない交通機関となった。また、藤の沢駅より日本鉱業豊羽鉱山の選鉱所まで貨物専用(2・1km)が分岐していた。筆者の記憶によると、ザ・ビッグ石山店の東側、中村記念病院付属看護学校の建物あたりに小高い岡のような引き込み線跡(築堤)があったのを覚えている。



藤ノ沢駅跡の標柱

十七本、下り十九本が運行されており、住民の足として利用されていたことが伺える。

藤野付近

藤の沢駅があった辺りは、現在藤野東公園として整備されており、藤野開基一二〇周年の時に作られた藤ノ沢駅跡の標柱が建っている。(写真)戦後は藤の沢女子高生(現在の北海道文教大学明清高等学校)の通学の足として利用されていたようだ。

十五島公園駅は現在の230号線沿いの十五島内科の裏手あたりで、昭和二十九年(一九五四年)定鉄が地元(観光協会と一緒に)の観光協会と一緒になって十五島公園造りを始め、夏の時期は公園の利用客で大いににぎわっていた。下藤野駅は開業当時、含笑寺近くだったが、定鉄の

藤野団地の造成にともなって駅舎を三百メートルほど西に移して団地住民の利便性を図った。

さよなら、じょうてつ

昭和四七年(一九七二年)冬季札幌オリンピック競技が開催されることになり、札幌の交通体系の改革として南北線北二十四条から真駒内を結ぶ線路が策定され、それは定鉄線を走る計画であり、鉄道用地の買収に応じることになった。

また、時代の趨勢による、旅客・物資の輸送がバスやトラックに移行、じょうてつの電車部門は廃止が決定、昭和四四年(一九六九年)一〇月三十一日、美しく飾られたお別れ電車の運行を最後に、五十一年の歴史とともに惜しまれながらも静かに幕を閉じた。

※参考資料

- ふるさとふじの(藤野地区町内会連合会創立三十五周年記念誌)
- わかしむかし定山溪鉄道が走っていたころのおはなし(講演会記録第1集)

(広報部 森永和雄)

休日・平日追加 住民集団健診

住民集団健診(とくとく健診)

を追加実施いたします。今年には新たに東光ストア藤野店でも実施します。まだ受診していない方はこの機会にぜひ受診してください。両日保健師による骨密度測定も行います。

日時 ①平成29年2月5日(日) ②平成29年2月15日(水)

①②共に9時30分〜11時受付

場所 ①藤野地区センター ②東光ストア藤野店

対象 40歳以上で国民健康保険、後期高齢者医療制度に加入している札幌市民
持ち物 受診券、健康保険証、前年度の結果(お持ちの方のみ)
費用 受診券に記載
申込み 不要

問い合わせ 南区健康・子ども課

健康やか推進係 電話 011・581・5211

ありがとうございます。これからも
 ● 軽自動車専用保険
 ● 軽自動車専用保証
 ● 軽自動車専用サービス
 ● 軽自動車専用オプション

TOYOTAの軽自動車
 軽自動車のご購入はカラー札幌で!

ピクシス メガ・エポック・スペース

新型アリウス 4WD 大好評 発売中

トヨタ自動車株式会社
 札幌市南区藤野2条4丁目2-3
 TEL: 011-594-2000

東光ストア 藤野店

札幌市南区藤野二条四丁目一―二

電話 五九二―八二〇九

雪中運動会

一、日時
 平成二十九年二月十九日(日)
 午前十時開始

二、場所
 藤野南小学校
 グランド

雪の中で一日
 楽しく遊びましょう



十五島内科

院長 斉藤 永憲

藤野二条六丁目
 ☎五九一―八八二八

板倉小児クリニック

診療時間月～金 九・〇〇～十七・三〇
 土 九・〇〇～十四・〇〇
 水 午後休診

藤野三条七丁目
 ☎五九一―〇六一一



今年も元気で 札幌藤が丘整形外科

院長 池澤 清 豪

南区藤野二条二丁目
 ☎五九二―一三八八




― 歯科・小児歯科 ―
 医療法人社団

坂井歯科医院

院長 坂井 秀行


藤野三条六丁目五―一
 千秋庵藤野店2F
 ☎五九二―二四七七



― 歯科・矯正歯科 ―

つだ歯科矯正歯科 クリニック

藤野四条五丁目一―一
 藤ヶ丘郵便局前
 ☎五九三―四一八二



WADA DENTAL CLINIC

歯科・小児歯科

和田歯科クリニック

歯学博士
 院長 和田 義行

藤野三条六丁目 生協藤野店2F
 ☎五九三―八二一一

犬・猫・小鳥・小動物の病院

ふじのペットクリニック

藤野三条七丁目(国道沿い)
 ☎五九一―〇六六一



賀年

本年も
地元商工業者をよろしく
お引き立ての程お願い申し上げます。

藤野中央商工振興会

石 上 車 輛
 岩 崎 建 設
 おそうじ本舗真駒内店
 カイロプラクティックスキップ
 栗 林 石 油
 こ な が や 電 器
 (有) 小 林
 サ カ 写 真 館
 札 藤 商 事
 札幌介護サービス
 札幌佐藤学園
 定山溪北斗観光
 清 壽 司
 そ ば 紋 ・ 紋 鮨
 タ ナ カ サ ー ビ ス
 日 光 広 告
 Hanaプランニング
 ビューティーサロン クイーン
 ビューティハウス オリーブ
 富 士 産 業
 北海道エアウォーター
 北海道エナジテック

北海道ロードシステム
 北海道銀行
 北門信用金庫
 ホワイトinブルー保険事務所
 マルカツ大勝建設
 マルミクリーニング
 南札幌動物病院
 ミミ ー 理 容 院
 ラ デ ィ ア ン ト
 ラ ー メ ン 眉 山
 理容・美容のタケダ
 理容のジョリ
 レオン藤野店
 ワ タ ナ ベ
 (五十音順)

藤野中央商工振興会事務所

札幌市南区藤野2条8丁目20-3
(北門信用金庫ふじの支店)



地域の暮らしを支える郵便局

〒061-2282

藤野郵便局

局長 石 倉 真 一
藤野二条七丁目二一五
☎五九二一〇〇五一

地域の郵便局として
笑顔のお付き合い

〒061-2284

札幌藤ヶ丘郵便局

局長 八重崎 泰 則
藤野四条五丁目十四一〇
☎五九二一六六七八

地域に愛情と真心を

〒061-2283

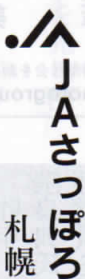
藤野沢簡易郵便局

藤野三条三丁目一十五
☎五九一八五二〇

台風・地震に強い! 建更共済 “むつき”

ひと・いえ・くるま いつもあなたのそばに!

暮らしのベストパートナー



札幌市農協 南支店

石山二条九丁目七八八
☎五九一四二二一

頌春

藤野商工振興会

日頃のご愛顧に感謝して、今年もよろしくお願いたします。

- (有) 阿部 精米所
- あしべ 食堂
- (株) 南風 観光
- 浅野 おやき 店
- いしぐる 電気商会
- ホームック(株) 藤野店
- 札幌藤が丘整形外科
- 札幌中央信用組合藤野支店
- ニタドリ 理容所
- (有) ニュードライ あいざわ
- 美容室 アケミ
- 和風居酒屋 竹ちゃん
- 藤野 聖山園
- ヘアースalon なかじま
- ふじのさわ内科クリニック
- ふじのストアー
- 北海道エナジティック(株)
- (有) 佐藤 建具製作所
- 酒井 薬品
- 菅野 商店
- つば八 藤野店
- (有) 寺 忠
- 中定建設工業(株)
- (有) 長澤 興業
- (有) 丸山 設備
- 宮浦 興業(株)
- (株) 福田配管工業社
- フアミーユ 藤野
- スナック 藤野
- 魚民 藤野店
- 計30件



社会医療法人 康和会

札幌しらかば台南病院

理事長 加藤 康夫
院長 高田 茂

- 診療科目 内科・消化器科・リハビリテーション科
- 診療時間 平日/9:00~12:00、13:00~17:00
(土曜日午後、日・祝祭日 休診)
- 療養病床 60床

南区藤野2条11丁目7-1
☎596-2621
FAX 596-2622



岡本興業株式会社

代表取締役 岡本 繁美

本社 TEL 八四一―一四三五
南区真駒内本町二丁目一番一号
藤野碎石工場 TEL 五九一―八五一四
南区藤野九六一番地

北海道らしい循環型社会を創る企業です
<http://okamotogroup.co.jp>

編集後記

昨年、東工大栄誉教授大隈良典氏がノーベル医学生理学賞を受賞した。細胞の自食作用の研究によるもの。

スポーツでは、日本ハムが日本一となり、大谷投手が球速165kmを記録した。北海高が夏の大会で準優勝し明かるい話題となった。

世相を表す漢字「字に金」が選ばれた。主な理由はリオ五輪での日本人選手の大活躍であり、東京五輪への期待が高まる。

年末年始にかけて子どもの行事が行われた。ふるさと子ども会議、書き初め会、かるた会等で、貴重な体験を通して交流の楽しさを持ち続けてほしい。(J)

〔96号訂正〕

5ページ藤野地区少年少女ドッジボール大会の主催は町連体育部です。おわびして訂正いたします。

- ルピナス第九七号
- ・平成二十九年二月一日発行
- ・発行人 寺田 良男
- ・編集人 森永 和雄
- ・印刷所 定塚 隆亮
- ・連絡先 札幌大同印刷(株)
- ☎五九二―四一七八(森永)